

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード 331

施策 地域福祉の推進

管理事業 災害救助事業

1 枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 災害救援活動補助事業	福祉総務課	吹田市赤十字奉仕団が行う災害救援活動を支援するため、毛布等の災害救援品の購入に要する経費の一部を補助する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 160	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 被災者の負担軽減を図るため、限られた予算の中でも品質や使い心地が少しでも良いものを提供できるよう努める必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 災害見舞金等支給事業	生活福祉室	災害による被災者に対する生活の支援を目的として、災害見舞金及び災害弔慰金の支給を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 1,120	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 災害による被災者等に対して見舞金または弔慰金の支給を速やかに行うことは、被災者への救済支援として大きな効果があり、事業を継続することは、市民および地域福祉に貢献するものである。また、令和元年度は、前年度に発生した自然災害により大きな被害を受けた被災者に対して、大阪府被災者生活再建支援事業に基づく支援金の支給を行う。今後も、見舞金や弔慰金の速やかな支給に努める。	今後の方向性 拡充

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 災害弔慰金等支給事業	生活福祉室	災害弔慰金の支給等に関する法律および同法施行令に準拠し、自然災害により死亡した被災者の遺族又は身体、精神に著しい障がいを受けた被災者に対して、生活の支援を目的として、死亡弔慰金等の支給を行う。	事業全体が法定事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 2,500	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 災害による被災者等に対して死亡弔慰金または災害障害見舞金の支給を行うことは、災害により生活に困窮する被災者や死亡した遺族の生活の安定を図るために大きな効果があり、事業を継続することは、市民および地域福祉に貢献するものである。弔慰金の支給にあたっては速やかな事務の執行に努める。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 災害救助資金貸付事業	生活福祉室	災害対策基本法に規定する災害により著しい被害を受けた被災者に対して、その生業の維持及び家屋補修等の復旧資金の貸付を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 基金	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 平成30年度に発生した自然災害被害により、昨年度は件数11件、330万円の貸付実績となった。被災者の生活再建に大きく役立っており、事業を継続することは、市民および地域福祉に貢献するものである。なお、本事業は災害救助資金貸付基金にて運営を行っており、基金総額は1億5千万円となっている。今後も、速やかな貸付事務に努める。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤			
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥			
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

上記以外の予算事業

※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課

事業名	所管室課